



学校だより

令和3年1月7日
横浜市立東戸塚小学校

《学校教育目標》 自ら学び 人とかがわり 創り出す子

成長の扉を開ける

校長 南部 礼子

あけましておめでとうございます

眩しいほどの陽射しに包まれて新年を迎えました。一人一人の子どもの成長のために、学校教育目標「自ら学び 人とかがわり 創り出す」のもと、教育活動を始動します。

新型コロナウイルス感染拡大が収束しない中、マスクの着用、手洗い、換気などに取り組み続けて、学校生活の習慣となりました。運動会、宿泊体験学習は残念でなりませんでした。本年度は見合わせました。それでも昨年秋以降、複数の学年では、スポーツフェスティバル、校外学習を実施することができました。これらの学習では、子どもたちがスローガンを決めることから始めて、よりよい活動を創るために友達とアイデアを出し合って進めました。そのような学習過程を経て当日を迎えました。さらに、振り返りの場では、一つのめあてに向かって友達と共に取り組んだ一体感を味わい、友達への感謝の気持ちをもったことを共有しました。

このような学年単位の学習はもちろん、今のような状況だからこそ、日々の学習を大切にしたいという思いを強くしています。11月下旬から1か月余り5年の1学級の算数科の授業をTT担当の教師と2人で行いました。急なことでしたから、当初子どもたちは考えや疑問を表すことへの不安や抵抗感が大きいようでした。そのため、授業後に一人一人のノートを見ることから始めました。前の単元で学習した考え方を今の単元でも使おうと統合して考えている、この考えを使い続けるために一般化しようと考えている、効率よく計算で求めるために解決方法を見直しているなど、一人一人の見方や考え方を見いだすことができました。しばらくすると、授業中に、「面積を揃えたときの人数で比べられるなら、人数を揃えてもできるのでは。」「なるほど、そう考えるのか。」「そう考えられるのは、頭が柔らかいからだ。」などのつぶやきが発せられるようになりました。ノートに記した振り返りを紹介する場を設けたときに、「自分だけでは考えられなかった見方や考え方に出会って、学習が広がった。新たな学習を編み出すことができた。」「友達と一緒に学習しているおかげという気持ちが生まれた。」などの言葉に、自然と拍手が起きました。「友達と私も含めて一緒に学習をつくっていきましょう。そして、そのことを楽しみましょう。」と、子どもたちに幾度となく話をしていましたから、嬉しくてなりませんでした。その後の振り返りの中でも、粘り強く取り組もう、自分で考えてみよう、その考えを発信しようとして一歩踏み出す勇氣、友達への感謝、自分の成長実感を綴っていました。自分の変容、成長を自ら創り出した証です。どの学年のどの学級にも、日々の学習を通して同じように実感している子どもたちの姿を想像できます。

自分でできたという実感が伴ってこそ自信に結び付きます。そのために、ときには見守って子どもが努力する時間をつくることも必要かもしれません。ときには子どもの状況を見極めて助言をすることも。さらに、達成できたときの子どもの喜びに共感することも欠かせないです。

「子どもの心の扉は外側にはハンドルはない、内側にしかない。だから外側からいくらこじあげようとしても、それは開かない。子ども自身がその扉を開くのを待つ以外ないのだということ」
(堀尾輝久著「教育入門」から抜粋)

冬休みが明けて登校してきた子どもたちは、現学年でこうありたいと成長した姿を目指すとともに、上学年の姿を意識して支度をします。じっくりと自分に向き合って友達とかかわって支度する過程で、成長の扉を開ける、その姿を価値付け共有することに努めます。子どもの力を信じて、教職員、保護者の皆様、地域の皆様のそれぞれの役割と連携を大切にして臨みたいと考えます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

【 主体的な学びの実現に向けた授業づくりⅣ 】

1年生 おおきいかず

今回の授業では、20より大きな数を数えるときに、どのように数えると正確に数えることができるのかを考えました。実際におはじきを数えたものの、全員の数が一致しなかったことから、「どうしたら全員が正しく数えられるのか」について考えました。子どもたちはこれまでに学習した「10のまとまりを作る」という考えをすぐに出しましたが、実際に並べてみると、様々な10のまとまりの並べ方が出てきました。

そこで、「同じ10のまとまりでも、よりよい並べ方はどれか」について話し合いました。

2つの並べ方を比較することで、「ばらばらよりも、横1列で10のまとまりを作ったほうが、一つ足りないことが分かりやすい。」「横2列で並べると10のまとまりが分かりやすい。」

「いくつ足りないかをより分かりやすくするためには、きれいに見やすく並べることが大切。」などに気付きました。「ただ10のまとまりを作るのではなく、より正確に、分かりやすい並べ方」について考えを深めている姿が見られました。



2年生 分けた大きさのあらわし方をしらべよう

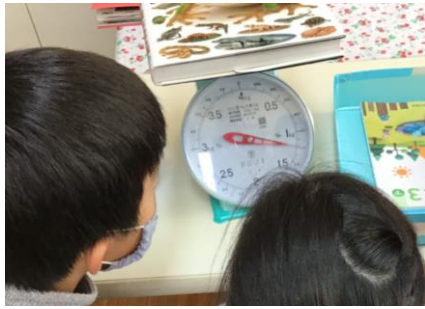
今回の授業では、正方形や円を折って作った「二分の一や四分の一」の分数を、他の場面でも作ることができるのだろうかという場面を設定しました。「12このあめを2人で等しく分けると、一人分は何こになるかな。」と問いました。すると、「一人分は6こ。」と、容易に答えを出しました。その理由を、図に表したりかけ算の式を用いたりして説明しました。「これも二分の一ということを知った。」などという声が聞かれました。さらに、「18この三分の一は何こだろう。」と問うと、「 $6 \times 3 = 18$ で考えられるよ。」「6は18を三つに分けた一つ分、三分の一だね。」と、自分の考えを友達に積極的に伝えたり、友達の考えに補足したり、共通点を見付けたりする姿が見られました。「□の三分の一は△」について考えると、「九九表のかける数が3の部分を使えば、無限に三分の一が考えられる」と驚きの声も聞かれました。「分数とかけ算はとても関係がある。」と気付いた子どもも多く、今後の学習を心待ちにしていました。



3年生 重さをはかって表そう

重さの感覚を身に付けるために、身の回りのものをいろいろな種類のはかりを使って量る活動を大切にすることをねらいとしました。

前時に、手作りてんびんを使って、消しゴムや鉛筆などの身近なものの重さを比べる活動を行い、「いろいろなものの重さを量ってみたい」という気持ちを高めて、今回の授業に臨みました。子どもたちから、事前に量りたいものの希望を聞いて、様々なものを用意しました。米などの重いもの、逆に、輪ゴム・紙などの軽いもの、給食当番で持ち運ぶときに一番重いと感じているトレイが入った籠、ボール、掃除機などです。子どもたちはどのようにして重さを量ろうかと悩みながら、友達と協力し合い意欲を高めて量る活動を行いました。活動の後に、友達のつぶやきや困ったことを共有する場を設けました。このような活動を経た結果、「もっと目盛りを正確に読みたい」「ぴったり〇kgにしてみたい」「同じ重さのものを見付けたい」など、自分たちで重さの学習計画を立てることができました。



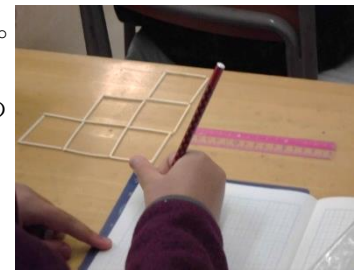
4年生 どのように変わるか調べよう(変わり方調べ)

具体物の操作を通して、伴って変わるものについて考え、図・表・式のよさを感じ得る学習を行いました。

今回、棒を使って、正方形を作り階段状につなげていきました。伴って変わるものは何があるかな。」と投げかけて、学習を進めました。段の数とまわりの長さに着目し、きまりを見付けるために表に表し、気付いたことを次々と書き出していきました。

「段数が増えても、表に表さずにもう求められる。」という声から、「何段のまわりの長さを考えようか。」と問い、29段の時のまわりの長さを求めるために式に表して、答えまで導いていきました。29×4と4×29のどちらの式が正しいのか、すぐに選択するのではなく、自分の言葉で説明しようとする子どもと聞きながら熱心に考えている子どもの意欲を感じる時間でした。

何が正しいのかを考え、友達と意見を交流しながら学ぶ姿は素晴らしく、今後の学習にもつなげていきたいと思えます。



5年生 面積の求め方を考えよう

台形の面積の求め方について考えました。前時までに、平行四辺形、三角形の面積を、これまでに学んだ図形に変えることで面積が求められることを学習しました。その際、「図形のどの部分の長さが分かれば計算で求められるのか」という問いをもって、「底辺」と「高さ」に着目して考えていきました。

台形は一組の辺が平行で、平行な上の辺と下の辺の長さが違うという特徴をとらえて、これまでに学んだ図形にどのようにして変形するかを考えて、台形の一部を移動したり台形を分割したりしました。合同な台形を二つ組み合わせて一つの平行四辺形にして「÷2」をする、対角線を1本引いて二つの三角形にして考えるなど、子どもたちは平行四辺形、三角形、長方形に変形することで、台形の面積も求められることに気がきました。次に式を比較すると、「違う求め方だけど使っている数が同じ。」「上の辺と下の辺を足した長さ×高さをかけて÷2をしている。」など、面積を計算で求めるために必要な「台形を構成する要素」を見付けました。また、一見「÷2」がないように見える式にも、実は「÷2」が隠れているということを見つけた意見に、他の子どもから思わず驚きの声が上がりました。



これまで積み上げてきたことを生かして学習に取り組むことがきました。

【 人権週間の取組 】

12月8日(火)の人権朝会では、「横浜子ども会議」についてと、そのテーマに沿った児童代表の発表がありました。誰にとっても「居心地のよい学校」にするためには、「当たり前のことをきちんとこなすこと」「一人ひとりが周りのことを考えて、自分にできること」をしていくことに決まりました。舞岡中学校ブロックの取組を受けて、代表児童が作文を発表しました。

だれにとっても居心地の良い学校にするには、あいさつと、どの友達とも気軽に話ができることが必要だと思います。「誰にとっても」は、学校に関わる全ての人たちのことです。その人たちがあいさつをしても、私たちがあいさつを返さなければ、さびしい気持ちや良くないなという気持ちになってしまうからです。

普段から友達と話をし、かかわっていると、困ったことがあるときに相談がしやすいと思います。

私は、「あいさつ」と「普段からのかかわり」を大切に取り組んでいこうと思います。

皆さんも、自分の取組、学級での取組を決めて、居心地の良い学校や学級にしていきましょう。

企画委員会委員長 6年

スポーツフェスティバル

【 2年 11月18日 】

本気をつくる

秋晴れの空のもとスポーツフェスティバルを行いました。

全員リレーではクラスみんなで取り組み、バトンを上手につないで走りきることができました。学年ダンスでは、音楽に合わせて心を一つに演技をしました。頑張っている友達を応援したり、動きを揃えて踊ったりしてかかわり高め合う姿に、学年の団結がより深まったことを感じました。他にも実行委員が中心となって、開会式や閉会式で自分の思いやみんなへのメッセージを堂々と伝えていて、成長が見られました。



【 5年 12月18日 】

気持ちを揃え 6年生へSTEP UP

寒さが厳しくなり始めた頃でしたが、天候に恵まれ、気持ちのよい暖かい日となりました。

5年生は例年、演技に短縄を使っています。今年度も短縄を使った演技やダンスで構成した表現運動を行いました。体育の学習の他に、中休み、家庭でも目標を決めて自ら練習し、課題としていた技ができるようになったり、曲に合わせて演じたりすることができるようになっていきました。

演技のタイトルは『意気投合でなわとびダンス～6年生のバトンをつなげ～』です。実行委員が「動ききも気持ちもしっかりと揃えてがんばります。」とメッセージを伝える場面もあり、学年で気持ちを一つにして精一杯演技することができました。



【 4年 学習発表に向けて 】

「だれもが安心・安全にくらせるまちづくり」という大きなテーマのもとに、「目の不自由な方」「耳の不自由な方」「車椅子を利用している方」「防災・防犯」の4つから関心の高いテーマを一つ選び、調べ学習や体験学習をしてきました。追究したい課題の中から具体的な活動を子どもたち自身で考え、アイマスクや点字の体験をしたり、手話を伴いながら歌を歌ったりしました。また、車いすに乗ってスロープを登ったり、町に出て地域の防災・防犯について自分で確かめたりしました。これらの体験を通して、気持ちを想像したり、自分にできることを具体的に考えたりしました。劇やポスターセッションなど表現方法を工夫し、集大成として動画を制作しました。



【 なわとび検定 ～委員会活動から～ 】

12月からエンジョイスports委員会が中心となり、なわとび検定を行っています。長縄集会のかわりに、どんな取組をして運動の楽しさを伝えるかを考えて計画を進めました。なわとび検定を始めてみると、振り返りとして「委員会の人たちがビブスを着たら目立って並びやすくなると思う。」「もっと声かけをしてなわとび検定に来てもらおう。」「跳び方が分からない子のために動画を撮ろう。」など様々なアイデアを出し合って意欲を高めていました。改善や工夫を続けながら、全校に運動の楽しさを味わってもらおうとする姿が見られました。



【 交流オリエンテーリング ～代表委員会の話し合いから～ 】

毎年6月頃に行っていた交流オリエンテーリングが行えず、「あいさつをいっぱいにはどうしたらよいだらう」と、代表委員会で話し合い、交流オリエンテーリングの方法を考えていくことになりました。その結果、「ペア学年毎に時間を分けて行う」「クイズの問題の字を大きくして密集を避ける」「各クラスからの出題とし、ペア学年とのかかわりを深める」という考えにたどり着きました。子どもたちが創り出した交流オリエンテーリングを通して、ペア学年と仲を深めることができました。交流オリエンテーリング後もあいさつをし合う姿が増えています。



専任だより

年末年始に子どもがもらったお金や物についてのトラブルが2月・3月頃に表面化することが多くあります。金銭や物の管理は、子どもにとって難しいことが多く、段階を踏んで丁寧に指導する必要があります。お金や物の授受は、非行やいじめに発展する可能性が高いです。「信じる」とことと「任せきりにする」とことは違います。お金の管理は、レシートと現物、残金を確認することが必要です。お金や物の管理は、将来に渡り必要になる力です。トラブルを避けることはもちろんですが、着実に家庭で育てていかなくてはならない力でもあると考えています。

一年の節目に、振り返りや目標を立てることをしたいと思います。お金や物の管理についても、お子さんの発達に応じて考え、話し合う機会をもっていただけたらと考えています。よろしくお祈りします。

児童支援専任

☆☆☆☆☆☆

1月の予定

☆☆☆☆☆☆

☆ お知らせ ☆

日	曜日	行事予定 	下校予定 (学年別丸数字)					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	金	元日 冬季休業						
2	土	冬季休業						
3	日	冬季休業						
4	月	学校閉庁日 冬季休業						
5	火	冬季休業						
6	水	短縮B (中5分) 朝会 (TV) カウンセラー来校 午前授業 (給食無し)	④	④	④	④	④	④
7	木	短縮A (中20分) 午前授業 (給食無し)	④	④	④	④	④	④
8	金	短縮A (中20分) 午前授業 (給食無し)	④	④	④	④	④	④
9	土							
10	日							
11	月	成人の日						
12	火	音楽朝会 (TV) 6年発育測定 給食開始	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥
13	水	カウンセラー来校 5年発育測定	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
14	木	4年発育測定	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
15	金	3年、7組発育測定	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
16	土	戸塚っ子いきいきアートフェスティバル (戸塚区役所3階ギャラリーA、B)						
17	日	戸塚っ子いきいきアートフェスティバル (戸塚区役所3階ギャラリーA、B)						
18	月	2年発育測定 クラブ (3年クラブ見学)	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
19	火	安全朝会 (TV) 1年発育測定	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥
20	水	カウンセラー来校	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
21	木	避難訓練 (不審者対応)	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
22	金	集会 (TV)	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
23	土							
24	日							
25	月	SSW来校 (PM) 委員会	⑤	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥
26	火	新1年生入学説明会	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥
27	水	カウンセラー来校 代表委員会 (3年参加、6年不参加)	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
28	木	校内授業研究会 (5時間授業)	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
29	金	給食集会 (TV)	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
30	土							
31	日							

6日~8日

下校時刻 12:15 ごろ【新型コロナウイルス
感染拡大防止に向けて】

全国的に感染者が急増している状況を鑑み、学校では、改めてマスクを着用することやこまめに手洗いをすること、ソーシャルディスタンスを確保することなどの大切さを指導しています。また、ガイドラインの改訂に伴い、体育の時間も、基本的にマスクを着用して活動していきます。ご家庭でも、引き続き検温や健康観察、バランスのよい食事をするなど、健康管理をよろしく願います。体温を記入した健康観察票は、毎日お子さんに持たせていただくようお願いいたします。

【戸塚っ子いきいき
アートフェスティバル】

1月16日(土)から17日(日)の2日間、各学年代表の図工の作品が、戸塚区役所3階ギャラリーに展示されます。入場は無料ですので、よろしければ感染症対策を講じた上でご覧ください。

【クラブ見学】

各クラブがどんな活動をしているのかを3年生が見学して回ります。その中で、クラブ活動は、自分たちで計画して他学年と交流しながら活動していることに気付いたり、次年度の自分の所属クラブを決める参考にしたりします。

【今後の転出】

年度末までに転出の予定がある方や今後急に転出することになった方は、分かり次第担任までお知らせください。